

# 令和5年産大麦情報第3号

令和5年2月24日  
J A 松 任  
白山石川営農推進協議会

## 生育状況

生育は順調で概ね目標茎数を確保しています。  
生育不足のほ場は、消雪期追肥を実施しましょう。

## 今後の管理について

### 1. 排水の徹底

停滞水は、湿害（生育の遅れや枯死）につながります。  
定期的に点検を行い、補修作業（連結等）や  
停滞水排除を実施しましょう！  
特に融雪後は、しっかりと点検しましょう！

水たまり発見！  
→排水を促す！



### 2. 追肥の施用

**①消雪期追肥** 生育が順調なため、ほとんどのほ場で追肥は必要ありません。  
茎数不足(650本/m<sup>2</sup>以下)の場合や  
茎数を確保していても、下葉の枯れ上がりが激しい場合は、追肥しましょう。

施用条件	施用時期	肥料名	施用量
生育量が少ない場合	消雪後～ 3月5日	NK17号	6～12kg/10a (窒素成分1～2kg) ※生育量が極端に少ない場合は12kg
		硫安	5～10kg/10a (窒素成分1～2kg) ※生育量が極端に少ない場合は10kg
下葉の枯れ上がりが 激しい場合		NK17号	6kg/10a (窒素成分1kg)
		硫安	5kg/10a (窒素成分1kg)

※生育量が少ない場合は、営農指導員までご相談ください。

裏面もご覧下さい →

## ②止葉展開期追肥 施肥の目的は、細麦防止と充実向上です。

施用時期（目安）	肥料名	施用量
3月下旬～4月上旬頃 （出穂10日前）	NK17号	6～12kg/10a （窒素成分1～2kg）
	硫安	5～10kg/10a （窒素成分1～2kg）

※施用時期の遅れや過剰施肥は、**硬質粒**が増加し、品質低下を招きます！  
※施肥時期は今後の天候で変わる可能性があります。

止葉展開期追肥の詳細は次号（3月中旬発行予定）でお知らせします！

### 3. 雑草対策

雑草の多いほ場は除草剤を散布しましょう。  
ほ場に発生している雑草の種類に応じて適切な薬剤を選びましょう。  
雑草の葉齢を確認して、遅れないよう散布しましょう。

薬剤名	薬剤使用量	散布液量 （希釈液量）	使用時期	対象雑草	使用回数
ハーモニー 75DF 水和剤	10g/10a	100L/10a	麦3葉期～ 節間伸長前	一年生広葉雑草 ※スズメノテッポウは 5葉期まで	1回 のみ

※上記の薬剤はスズメノカタビラに効果がありません。

今後の1か月（2/18～）の予報（2/16 新潟地方気象台発表）  
平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

- 平均気温：高い
- 日照時間：平年並
- 降水量：平年並
- 降雪量：少ない

memo